

～「Ubiquitous (ユビキタス)」とは「どこにでも存在する」を意味するラテン語。

「いつでも、どこでも、だれでも」が関わることのできるネットワーク環境のこと～

インターネットやケータイ電話に関わるトラブル

インターネットやケータイ電話の利用が低年齢化し、子どもたちが有害情報に全く触れることなく生活することが難しくなってきました。最近では、小中学生でも被害にあったり、時には加害者側になったりすることがあります。(事例01～14)

学校では情報モラルの観点から指導しているものの、それだけでは追いつかない状況になってきているのも事実です。インターネット上のさまざまな情報を正しく判断し、適切に活用することのできる力(メディアリテラシー)を育成していくことが大切です。さらにフィルタリングなどの技術的な手段を上手く活用しながら、子どもの発達段階に合った情報機器の活用を促したいものです。

子どもが被害者になってしまった事例(全国)

01

無料ゲームサイトから始まる

女子中学生が、無料のゲームサイトで知り合った男性と親しくなり、メールのやり取りをするなかで顔写真を送った。その写真をばらまくと脅され、ついには裸の写真などを撮らされ、相手の携帯へメールに添付して送信してしまった。

02

ブランド品のはずだったのに…

女子高生が、掲示板サイトにブランド品のコート購入希望と書き込んだ。指定の口座にお金を振り込んだが、商品は届かず、お金をだまし取られた。

03

着信履歴にかけ直すと…

心当たりのない着信履歴の電話番号にかけ直した。相手に誘われて直接会い、連れ回された結果、誘拐事件に発展した。

04

迷惑メールが大騒ぎに！

幼い子どもを持つ母親らの間で「大型スーパー等のトイレに子どもを連れ込み暴行する事件が相次いでいる」などと、事実無根のチェーンメールが流れ大騒ぎになった。

05

撮影会に！とだまされて…

携帯サイトで「グラビア撮影で1時間5万円のアルバイト」と誘われた。待ち合わせ場所に出かけてしまい、言葉巧みに誘われ、裸の写真を取られてしまった。

06

カメラ機能を使った事件

同級生に、全裸を携帯電話のカメラで撮影され集団暴行を受けた。中学2年生と中学3年生の女子生徒6名が逮捕。画像は、男子生徒らに送信されていた。

子どもが加害者になってしまった事例（全国）

07

料金のトラブルが殺人事件に

「携帯電話の料金が高い」と怒鳴られていた長男が母親の首を刺し、殺人容疑で逮捕。最近3ヶ月の携帯電話使用料金9万円は母親が支払っていた。

08

中学生がネット詐欺

中学生が携帯サイトに「人気グループ●●●のチケットあります」と書き込み、コンサートチケットを譲ると嘘の情報を掲載。現金約2万5千円をだまし取った。

09

援助交際を装い強盗

出会い系サイトで男性を誘い出し、睡眠薬を飲ませて現金を奪った女子中学生とその姉が、昏睡（こんすい）強盗の疑いで逮捕された。

10

ワイセツ画像販売

女子生徒が、自分で撮影した裸の画像36枚を携帯サイトで販売して事件になった。

11

女子高生が薬物を

女子高校生が、校内で携帯電話を使い連絡を取りながら、錠剤型麻薬を売買して逮捕された。

12

いじめ・中傷メールを送信

「●●●はプチ整形しています」などと中傷する内容のメールに顔写真を添付して、クラスメイト数名に送信した疑い。「名誉毀損」で書類送検された。

13

校則違反で傷害事件

禁止されている携帯電話を校内に持ち込み音楽を聴いていたため、教諭が注意したところ、教諭に頭突きをして怪我を負わせ、傷害容疑で中学生が逮捕された。

14

中学生でも加害者

中学生が出会い系サイトに「エッチに興味あります。20歳代でカッコよくて優しい人。オヤジは嫌です。中学生です。」などと書き込み補導された。

次号の掲載内容（予定）

ケータイ電話を悪用したサイバー犯罪の手口と、その対応策についてご紹介します。

生徒指導総合対策会議では、皆様からのご質問や、「こんな点を教えて欲しい」「こんな事例での対応策は？」など、身近な疑問についての質問をお受けしたいと思います。個別事例のご相談も可能な限り行いたいと思いますが、共通の話題として「ユビキタス@nagano」にもできる範囲で掲載したいと思います。下記までご連絡ください。

生徒指導総合対策会議事務局 担当：長野県教育委員会 教学指導課 心の支援室生徒指導係
Tel 026-235-7436（直通） Fax 026-235-7495 E-mail kokoro@pref.nagano.jp

※「ユビキタス@nagano」は参考資料として情報提供しています。学校の実情に合わせてご活用ください。